

平成 21 年度宮前区区民会議企画部会(第 4 回)

平成 21 年 12 月 1 日(火) 18 時～19 時

宮前区役所 4 階第 1 会議室

次 第

1 開 会

2 議 事

- (1) 第 2 期宮前区区民会議報告書について
- (2) 第 2 期宮前区区民会議の総括方法について
- (3) 区民会議フォーラムの実施方法について

3 その他

《配布資料》

- 資料 1 第 2 期宮前区区民会議報告書(案)
- 資料 2 第 2 期宮前区区民会議の総括方法(案)
- 資料 3 区民会議フォーラムの実施方法について (案)

第2期宮前区区民会議報告書

～○○○○○○○○○○まちへ(提言)～

平成 21 年 12 月 14 日

宮前区区民会議

目 次

I 公園を活用した地域コミュニティの活性化に関する提案

- 1 宮前区の公園の現状と取組…………… 1
- 2 解決すべき課題など…………… 2
- 3 具体的な課題解決策…………… 3

II 地域資源を活用した地域コミュニティの活性化に関する提案

- 1 宮前区の宝・顔に関する現状と取組…………… 9
- 2 解決すべき課題など…………… 10
- 3 具体的な課題解決策…………… 12

- 資料編…………… 16

I 公園を活用した地域コミュニティの活性化に関する提案

1 宮前区の公園の現状と取組

(1) 公園の有する機能

宮前区の公園に限ったことではありませんが、一般的に公園は、誰もが気軽に利用できる緑豊かなオープンスペースであり、レクリエーション・憩いの場といった機能に加え、防災拠点にもなるなど多様な機能を有しています。例えば、第1期の提案にあった公園体操などは、当初8箇所だったのが現在は30箇所以上に増え、高齢者の健康づくりと地域コミュニティの活性化に大きく寄与しています。

このように、公園は住民が集い交流することのできる地域コミュニティの拠点となりうる可能性を持っていると考えられます。

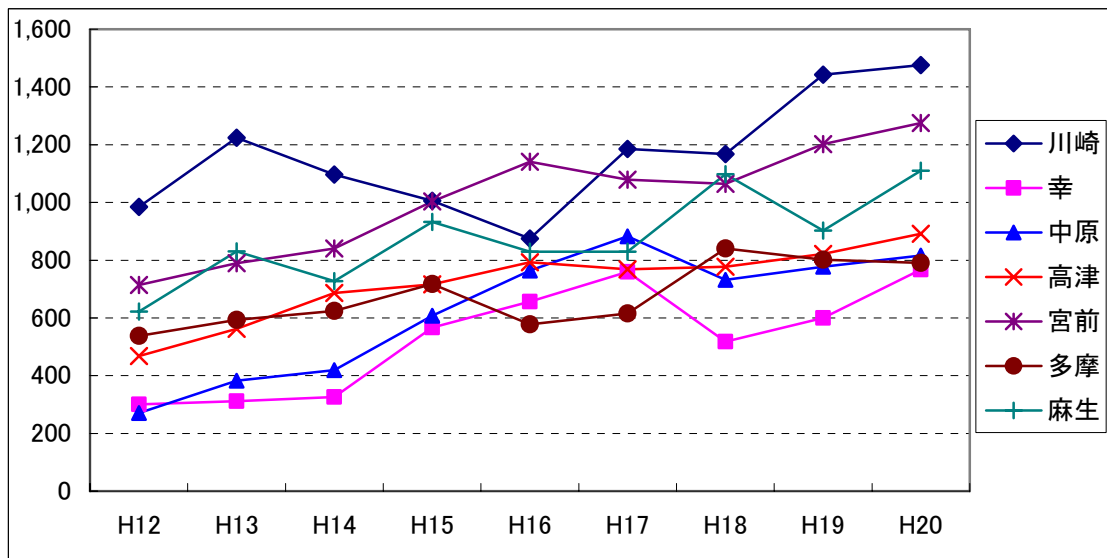
(2) 公園(都市公園・市営公園)の整備状況

平成21年3月現在の宮前区の公園の整備状況は次のとおりとなっています。川崎市全体では麻生区に次いで2番目に公園の多い区となっています。

区分	街区公園	近隣公園	その他	合計
公園数	176	6	14	196

(3) 増加する苦情

主に、増加する公園に見合う維持管理経費が十分に確保されなかったことなどが原因で、樹木の剪定や遊具やトイレ等の公園施設の故障などに関して、公園事務所に寄せられる苦情が増える傾向にあります。



このほか、ごみの不法投棄やペットの扱いのほか、青少年の夜のたまり場になってしまっている公園もあるなど、マナーや倫理上の問題もあり、せっかくの公園が迷惑施設になってしまっている側面もあります。

(4) 地域が主体となった管理運営

川崎市緑の基本計画(平成 20 年 3 月改定)では、「協働により緑を守り育む持続可能な仕組みの構築」を基本方針の 1 つとして掲げています。

地域住民の身近な公園については、地域が主体となって管理・運営することが基本的な考え方とされ、それを具体化するものとして、公園・緑地管理運営協議会の制度が緑の基本計画の改定に先立ち、平成 17 年度からスタートしています。

この公園・緑地管理運営協議会は、身近な公園を地域のコミュニティ拠点としていくことを大きな目的として、これまでの愛護会が担っていた除草・清掃の役割に加え、中低木の剪定など、より高度な維持管理を地域で担うほか、公園の利用方法などの運営面においても、その調整機能を地域が担うことができるようになりました。

平成 21 年 10 月現在、宮前区では 62 箇所公園・緑地管理運営協議会が設立されています。

2 解決すべき課題など

(1) 理想とする公園像について

現在置かれている公園の状況と理想とする公園像とのギャップを明らかにし、課題解決によって目指す方向性をより明確にするため、理想とする公園像について意見交換し、イメージの共有を図りました。

■ 望ましい施設…トイレ、ベンチ、看板など、地域のニーズや実情に合わせて

- ・ 公園に必要な施設として、トイレ・ベンチ・看板・時計・遊具など、公園の立地、利用者の構成やニーズ、地域の実情に合わせた施設が配置されている。
- ・ どのような施設が必要かを自分たちで検討できるしくみができている。

■ 維持管理・運営のあり方

- ・ 多様な世代が無理なく主体的に
子どもから高齢者まで、地域の多様な世代が無理なく主体的に関われるしくみがある。
- ・ 利用者が維持管理・ルールづくり
利用者自らが、維持管理の方法や利用上のルールづくり、企画運営に関われるしくみがある。

■ 公園の使い方（コミュニティ面）

- ・ 多世代が利用し顔見知りの関係に
子どもから高齢者まで、地域の多様な世代に利用され、公園での出会いを通して地域内でお互いが顔見知りの関係を築いている。
- ・ 地域のイベント会場として
お祭りや盆踊りを始め、地域の様々なイベント会場として公園が利用されることで、自然に地域住民が集まり交流する場となっている。

(2) 解決すべき課題について

理想とする公園像と現状とのギャップを踏まえ、部会では、解決すべき課題を次のとおりとしました。

■ 課題①：維持管理について

- ・ 担い手の不足・固定化・高齢化

公園の維持管理活動に関わる人が少なく、また、現在関わっている人材も固定化、高齢化している現状があり、より多くの人に関わるしかけが必要である。

- ・ 公園緑地管理運営協議会の存在・役割の周知・普及

区民会議としては、公園緑地管理運営協議会の存在や役割が地域に広く知られていない現状があるのではと感じている。また、活動が清掃や樹木の剪定等の維持管理面にとどまっている団体が多く、要綱上含まれている公園の運営など地域のコミュニティづくりにまで至っている活動団体が少ないのではないかと思われる。また、そうした活動が可能であることがあまり知られていない現状もあると思われ、公園緑地管理運営協議会の存在や本来の役割を区民に周知・普及して、より主体的な活動を広げていくことが求められる。

■ 課題②：公園利用について

- ・ 利用層の偏り・固定化

公園を利用する人が限られている傾向があり、公園を地域コミュニティの拠点とするにはより多様な人が気軽に公園に集い利用することが大切である。

- ・ コミュニティ価値の情報発信不足

公園のコミュニティ的価値に関する情報発信が不足している。公園を地域コミュニティの拠点として位置付けるために、公園の必要性やまちづくりにおける重要性について、もっとアピールしていくことが必要である。

- ・ 利用者マナー

一部の利用者に見られる公園の利用マナーの改善が求められる。公園の価値を地域で認識・共有し、公園に愛着を持つことが進めば、利用マナーが自然に改善されていくと考えられる。

3 公園を活用した地域コミュニティの促進に関する具体的な解決策

提案①：公園を知ってもらおう！～公園内に掲示板などを設置～

【趣旨・目的】

- ・ 公園では地域の色々な団体が主体となって、公園・緑地管理運営協議会の活動のほか、公園体操や自主保育など多様な活動を行っています。
- ・ こうした公園内での活動・イベントを広く知ってもらい、より多くの参加を促し、最終的には地域コミュニティが活性化することを目指します。

【実施方法/実施主体】

■ 活動内容をPRする掲示板の設置

- ・ 日ごろの活動内容を恒常的に発信できるような掲示板を団体からの申請に応じて、宮前区役所が公園管理者の許可を受けた上で設置します。

- ・ 宮前区役所と団体とで管理協定を締結します。
- ・ 設置の申請ができる団体は、公園で地域コミュニティに資する活動を継続的に行っているとともに、地域の利害関係の調整や掲示板の管理・運営に責任を持ってあたれる団体が望ましいため、公園・緑地管理運営協議会に限定します。

■ 活動内容をPRするプレートの設置

- ・ 公園・緑地管理運営協議会以外で、公園体操や自主保育など地域コミュニティの活性化に資する個別の活動を行なっている団体に対しては、掲示板ではなく活動内容を記した見た目にも楽しいプラスチックのプレートなどを制作し、公園事務所の許可を受けた上でフェンス等に掲示できるようにします。
 - ※ 掲示板やプレートを設置する際には、景観・美観を損ねることのないよう、周辺環境との調和に配慮することとします。
 - ※ 提案②の「冒険あそび場」の実施団体については、その支援のメニューとして「掲示板の設置」を用意します。

【実施時期】

- ・ 実施時期については、平成22年度からの実施が望ましいものとします。

提案②： 「冒険あそび場」をひろめよう！

【趣旨・目的】

- ・ 現代の子どもには、その成長にとって必要な**時間・空間・仲間**の「サンマ(3つの間)」がないといわれています。
- ・ そこで、公園というオープンスペースを活用し、地域が主体となって「冒険あそび場」を実施することで、次世代育成の場の確保を目指します。
- ・ また、「冒険あそび場」への地域住民の参加を促進し、本部会の趣旨である地域コミュニティの活性化も目指します。

《 冒険あそび場とは？ 》

部会では、従来のプレイパークの概念にとらわれず、宮前区らしいプレイパークを目指すことを企図して「冒険あそび場」という言葉を用いることとしました。プレイパークと呼ばれる活動は、一般的には次のような内容となっていますが、地域の特性や実情に応じた活動内容としていく必要があります。

【概要】

■ 冒険遊び場（プレイパーク）

「プレイリーダー」と呼ばれる見守り役の大人のもと、子どもたちが自由な発想で遊びを創り出し、やりたいことを実現する場です。

■自分の責任で自由に遊ぶ

小さな怪我などのリスクを自分で負担することを前提とします。

火を使う遊び・泥遊び・工具を使った遊具や秘密基地づくりなど

【効果】

■地域コミュニティの活性化

活動に地域の大人が関わることで、地域コミュニティの活性化につながります。

→特に若い父親世代の参加が期待できます。

■次世代育成 ★宮前区は子ども(0~14歳)の数(32千人)・割合(15.3%)ともに7区最多

与えられた遊具だけでなく、思いきり遊べる外遊びの環境を確保します。

小さな怪我を経験することで、「**大きな怪我や危険から身を守る術**」を身につけます。

【実施内容】

- ・「冒険あそび場」の実施には、地域で利害の対立する可能性もあるため、「サンマ」に続く4つ目の「間」である世間（地域社会）に受け入れられるよう、宮前区の地域特性に合ったルールを策定する必要があります。
- ・しかし、区民会議として具体的なルールを作ることは難しく、実際に活動に携わる団体と行政とが協働でルール作りを行う必要があります。
- ・このため、平成22年度に「(仮称)宮前区冒険あそび場支援検討委員会」を設け、「冒険あそび場」のルールや行政からの具体的な支援のあり方について検討を行います。
- ・ルール作りにおいて実際の活動の観点から検討するために、既存の団体や冒険あそび場に近い取組を行っている団体に、モデル団体として引き受けてもらうことを依頼します。
- ・このほか、冒険あそび場をもっと広げることを目的として、実施を希望する地域団体を対象に、既存の実施団体に依頼して「出張・冒険あそび場」を実施し、「冒険あそび場」が体験できる機会の確保を図ります。

【(仮称)宮前区冒険あそび場支援検討委員会の概要】

- ・市民が行うプレイパーク活動を積極的に支援するためのルールや行政支援のあり方を、区役所・関係行政機関・既存活動団体・子育て支援団体・青少年育成関係者・公募市民等で検討します。各団体は、各々で適宜子どもの意見を吸い上げながら、検討に反映させるものとします。

〈委員会への参加を呼びかける団体〉

・既存活動団体

(ポレポレ、グリーンフォーラム21みやまえ、野川こ文プレイパーク(自主学童保育ささのはクラブ))

・子育て支援団体・青少年育成関係者

(地域で子育てを考えよう連絡会、青少年指導員連絡協議会、運動普及推進員連絡協議会、民生委員・児童委員協議会、こども会連合会、ボーイスカウト・ガールスカウト、地域教育会議)

- ・全町内・自治会連合会
（公園・緑地管理運営協議会を組織している町内会・自治会から参加）
- ・区役所
（企画課、地域振興課、こども支援室、道路公園センター）

提案③：もっと公園を楽しもう～宮前区公園月間の設定～

【趣旨・目的】

- ・公園は誰もが気軽に使えるオープンスペースですが、中にはあまり使われていない公園もあります。
- ・公園を地域コミュニティの核としていくために、地域住民にもっと公園に目を向けてもらう必要があります。

【実施内容】

- ・毎年、桜の咲く4月と落葉の季節の11月を「宮前区公園月間」として、イベントなどの開催を地域に呼びかけます（イベントには、例えば落葉を使った染物など伝統文化を取り入れることも考えられます。）。
- ・現在発行している「歳時記みやまえ」をモデルに、「みやまえ公園イベント情報」を毎月発行し、各町内会・自治会を通じ区内各世帯に回覧します。
- ・同時に、宮前区地域ポータルサイト「みやまえぼーたろう」でも公園でのイベント情報を発信します。
- ・「宮前区公園の日」の呼びかけは、区民会議委員が所属している各団体や、公園・緑地管理運営協議会や愛護会などに委員や区役所が直接行うほか、「みやまえ公園イベント情報」や「みやまえぼーたろう」上でも行います。

提案④：公園・緑地管理運営協議会の活性化のための支援

【趣旨・目的】

- ・公園・緑地管理運営協議会は、維持管理だけでなく地域コミュニティの担い手としての役割も期待されています。
- ・しかしながら、実際には地域コミュニティの担い手としての意識はあまり強くなく（設立当初はそう認識されていたとしても、年数が経つと忘れられてしまう）、専ら維持管理を行う組織として認識されている傾向が見られるため、その役割を認知してもらう継続的な取組が必要です。

【実施内容】

- ・ 現在、公園・緑地管理運営協議会が設立されている公園には、「〇〇公園・緑地管理運営協議会が管理運営しています」といった表示があるだけなので、公園管理者と協議のうえ、その趣旨・役割等をわかりやすく表現した看板を掲示することが望ましいと考えます。
- ・ 趣旨・役割等をわかりやすく掲示することで、管理運営協議会は維持管理だけではなく公園の企画運営まで行うことができる団体であるということ、公園を地域コミュニティの拠点として積極的に活用していくことができるということを市民・管理運営協議会の双方に周知できます。
- ・ また、市民の側では区民会議委員が中心となって、地域の協議会と積極的に関わり、サポートしていくことが重要と考えます。
- ・ さらに行政側では、協議会の代表者が集まる会議の場を活用し、研修などを通じて地域コミュニティの担い手であるという協議会の趣旨を継続的にお知らせすることや、区民会議での審議経過を伝えることなどを行うべきと考えます。

目指すべき方向性

公園を地域コミュニティの場として活用していく

全体会での意見など

- ・公園がコミュニティの拠点になることで、公園に愛着が生まれ、管理が行き届く。
- ・コミュニティの場としての公園には、コーディネーターの存在が必要不可欠だ。
- ・宮前区の公園は7区でも多い方なので、これらがないと使いにくい場になる。区民の宝になる。
- ・子育てで終わった世代は公園に行かなくなりがちなので、楽しそうな企画があれば通りがかりでも参加できるのではないかと。
- ・冒険あそび場を実施できるようにするには、時間・空間・仲間の「サンマ」に続く4つ目の「間」を受け入れられることが大切だ。

公園・地域に関する現状

◆ 地域コミュニティなどに関する現状と取組
(公園を絡めた解決策を視野に入れて…)

第1期区民会議では、審議課題である高齢者支援や、子育て支援、地域防災などを効果的に行うには、顔の見える関係づくり(地域コミュニティ)が重要であると確認された。

◆ 公園そのものに関する現状と取組

区内には190の公園緑地がある。
うち、街区公園：170 近隣公園：6 その他：14

公園緑地・街路樹に関する苦情が増している
H12：714件→H18：1,065件

地域の公園は地域が主体となって管理するのが、市の基本方針となっている。宮前区では129箇所地域による維持管理活動等が行われている。

うち、公園緑地管理運営協議会：51
地愛護会：78

レクリエーション、憩いの場に加え、緑地、防災拠点など公園には多様な機能がある。

夏祭りや盆踊り等地域のイベント会場、ラジオリレー、健康体操の会場などとして使用されている。

一部の公園で、施設の老朽化や管理が十分でないケースが見られる。

誰でも使えるオープンパークであるが、その利用方法は、立場や世代によって利害が対立する場面がある。

ゴミの不法投棄、犬や猫の糞など、一部に、マナーの悪い利用者がいる。

理想とする公園像

◆ 望ましい施設

トイ、ベンチ、看板、時計、砂場などがあげられたが、地域のニーズや実情によって異なる

◆ 維持管理・運営のあり方

地域の多様な世代が、できる範囲で無理なく主体的に維持管理に関わっている

公園利用者自らが、自主的に公園の維持管理、ルールづくり、催し物の企画運営に関わることができている

◆ 地域での使われ方(コミュニティ面)

普段から子どもからお年寄りまで、多世代の人が自由に利用しており、顔見知りの関係ができている

地域のお祭りやイベント会場としても使用され、地域の交流が図られている

解決すべき課題

◆ 維持管理について

活動に関わる人が少ない。参加者の固定化・高齢化が見られる。

公園緑地管理運営協議会が存在・役割とも地域にあまり知られていない。

自主的な公園利用のルールをみんなで話し合う組織としての公園緑地管理運営協議会の役割が内部の人にもあまり知られていない。

◆ 公園利用について

公園の利用層に偏りがあり、特定の人しか利用しない傾向がある。

公園のコミュニティ的価値に関する情報発信が不足している。

利用者のマナーが良くない(ごみ・たばこ・ペットなど)

具体的な課題解決策

◆ コミュニティのきっかけづくり

提案①：公園を知ってもらう！
～公園内に掲示板などを設置～

- 活動内容をPRする掲示板の設置
- 日ごろの活動内容を恒常的に発信できるような掲示板を設置
- 設置の申請ができる団体は、公園で地域コミュニティに属する活動を継続的に行っているとともに、地域の利害関係の調整や掲示板の管理・運営に責任を持ってあたれる団体に限定

◆ 活動内容をPRするプレートの設置

- その他、公園体操や自主保育など地域コミュニティの活性化に資する団別の活動を行なっている団体については、掲示板ではなく活動内容を記したプラスチックのプレートなどを制作し、フェンス等に掲示

◆ 公園の利用促進に向けて公園の魅力アピール

提案②：「冒険あそび場」をひこうめよう！

- 「仮称」宮前区冒険あそび場支援検討委員会」の設置し「冒険あそび場」のルールや行政からの具体的な支援のあり方について検討
- 既存の実施団体に依頼して、実施を希望する地域団体にに対して、出張「冒険あそび場」を実施し、「冒険あそび場」が体験できる機会を確保

◆ 提案③：もっこ公園を楽しむもっこ宮前区公園月間の設定

- 毎年、4月と11月を「宮前区公園月間」として、イベントなどの開催を地域に呼びかけ
- 現在、毎月発行している「歳時記みやまえ」を毎月発行し、「みやまえ公園イベント情報」を毎月発行
- 同時に、宮前区地域ポータルサイト「みやまえほーたる」でも公園でのイベント情報を発信

◆ 維持管理・運営の担い手・組織など

- 提案④：公園・緑地管理運営協議会活性化のための支援
- 協議会の代表者が集まる会議の場を活用し、その趣旨を継続して周知
- 公園管理者と協議のうえ、その趣旨・役割等を明示した看板を掲示
- 区民も協議会と積極的に関わってサポート

II 地域資源を活用した地域コミュニティの活性化に関する提案

1 宮前区の宝・顔に関する現状と取組

(1) 地域資源（宝物）に関する現状

宮前区内には、歴史文化・自然・市民活動・都市農業など多くの魅力的な資源がありますが、その大半は区民にあまり知られていません。

これは、昭和41年の田園都市線の長津田駅までの延伸に伴って順次沿線開発が始まったという宮前区の歴史的経緯に起因していると考えられます。都心部のベッドタウンとして発展を遂げてきた宮前区は、都市としての歴史もまだ40年余であり、また、過去に社宅などが多かった関係で通勤族が多く、いわゆる「川崎都民」と呼ばれる区民が数多く住んでいるという特徴があります。

このため、宮前区は極端に言えば「腰掛けで住むところ」「眠るためだけに帰るところ」といった場所となってしまう、生活をする上で地域のことにさほど関心を払う必要がありませんでした。例えば、住宅地のすぐそばで展開されている都市農業では、「かわさきそだち」にも指定されている質の良い農産物がたくさんありますが、区内での販売ルートがあまり確立されていないことなどから、区民にはあまり知られていません。

こうした状況などもあり、市内7区中では最も遅い形となりましたが、平成19年度には、「住んでよし・訪れてよし」をキャッチフレーズに、宮前区観光協会が発足し、区内の魅力発信に向けた活動を開始しています。

このほかに一般論として、地域の宝といえるものに目に見える宝のほか、目に見えない宝として風土などもあると考えられます。

(2) 宮前区に対する内外のイメージ

部会では、「自然豊かな閑静な住宅地で、教育水準も高いといわれているが、繁華街が少なく、特徴・シンボルに欠ける面がある」といったものが、概ね委員が共通して抱いている宮前区のイメージでした。

一般的には、田園都市線沿線を中心に、都心へのアクセスの良さと緑豊かな暮らしを併せ持つ住宅地としての人気が高いほか、特に教育の評価が高く、子どもの教育のために宮前区に引っ越してきたという話も聞かれます。

その一方で、「宮前区ってどんなまち？」と一般区民を対象に聞いたとしても、答えられるものや、共通のイメージが無いのではないかと、という感想を持ちました。

平成14年度に行われた「川崎市政及び区政に関する市民1万人アンケート」によれば、「お住まいの区のイメージは？」という設問に対して、「とくにない」と回答した区民の割合が7区で最も高かった(12.1%)という結果が、この委員の感想を裏付けるデータになっていると考えられます。

(3) その他宮前区をめぐる現状

宮前区は、宮前地区と向丘地区とに分かれており、現在は、東名高速道路が概ねその境となっています。川崎市域はかつて武蔵国の一部を構成していましたが、宮前地区は相模の国の影響が、向丘地区には武蔵の国の影響が残っているのではないかと、との意見

が委員からは出されました。

このほか、現在雑誌等において紹介される機会が多いのは、田園都市線沿線の地域が中心となっています。

2 解決すべき課題など

(1) 資源の分類について

課題の抽出や解決策の検討に先立ち、宮前区内の既存の資源の情報の収集を行いました。また、それを広く区民に紹介することを見据え、資源の分類方法等について審議しました。

■ 5つの大分類…自然、歴史文化、産業、活動、まち・施設

資源の分類については、できるだけわかりやすくシンプルであるべきという意見を踏まえ、以下の5つの大分類としました。

自然	緑・緑地・公園、水、生物、植物 など
歴史文化	史跡・遺跡、歴史のある道、伝承・民俗文化、寺社仏閣、ゆかりの人物 など
産業	食べ物、その他産物、農業、工業 など
活動	イベント、市民活動 など
まち・施設	ランドマーク・モニュメント、施設、道、商店 など

また、これらの資源を実際に紹介する際には、その資源のある地域やその資源を楽しむことができる時期などもデータ化し、資源データの検索の方法はできるだけたくさんあった方がよいとの意見もありました。

■ 楽しむ方法…みたい(見/観)・ききたい(聞/聴)、買いたい・食べたい、やってみみたい

宮前区の資源を紹介する際に、区民にその資源により親しみを感じてもらうために、「楽しむ方法」という別の観点から資源を分類することとしました。

(2) 「資源」「宝」「顔」の定義について

具体的な課題解決策の審議にあたり、部会で何気なく使われていた地域の「資源」「宝」「顔」という言葉について、しっかり定義することとしました。

宮前区の「資源」…まだ区民が知らない、区民にあまり知られていないものも含む

もっとも広い範囲をさす言葉で、まだ発見されていないものも含まれる。

宮前区の「宝」…区民に知られている、区民に大切にされているもの

資源の中でも、ある一定の地域や範囲の区民に知られているもの。また、区民に大切にされているものが“宝”である

宮前区の「顔」…区外にも知られている、区民の誇り・シンボルになっているもの

宝の中でもさらに、区外にも広く知られており、宮前区の魅力として広く認められているもの、区民の誇りやシンボルになっているものが“顔”である。

例えば、宝物はある地域や人々の間で密かに、門外不出の形で守られている場合も考えられますが、顔になるには、外からもその魅力が明確になっている必要があるものと考えられます。

(3) 「宝」や「顔」があるまちのイメージ

まちの宝や顔があることによって、次のような効果が期待できると考えられます。

【区民一人ひとりの立場で考えた場合】

- ・ 「宮前区ってどんなまち？」と聞かれた場合、自信を持って、自分の住んでいるまちの特徴や魅力を区外の人に紹介することができる
- ・ それぞれが地域に愛着を持っていて、終の棲家とすることも考えている
- ・ 地域を大切に思い、近隣との良好なコミュニケーションが図れている

【地域社会全体で考えた場合】

- ・ 地域に愛着を持つ区民が多くなることで、豊かな地域コミュニティが形成されている
- ・ 豊かな地域コミュニティを礎として、地域の課題も地域が主体となって解決にあたっている

(4) 解決すべき課題について

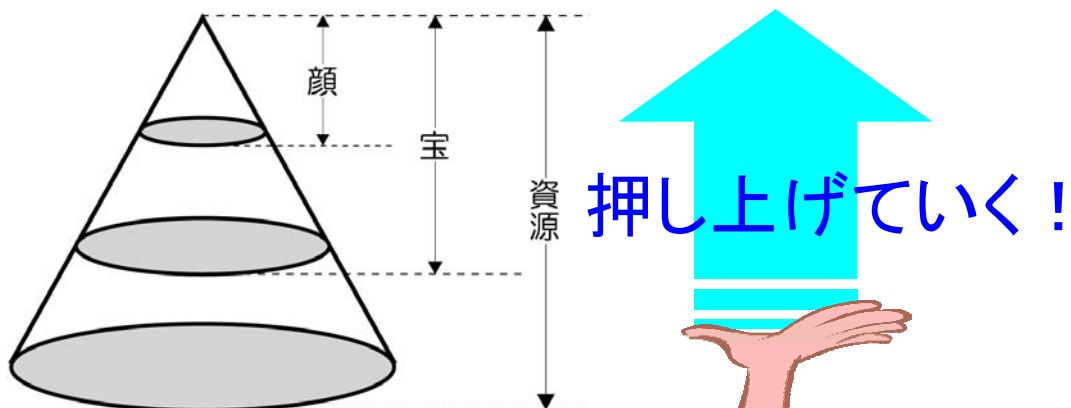
宝や顔があるまちづくりに向け、部会では、解決すべき課題を次のとおりとしました。

■ **課題：区内の資源の共有・押し上げ**

区内の「資源」が「宝」や「顔」となっていくためには、まず区民一人ひとりに資源の存在を知ってもらったうえで、区内全体で共有し、最終的には対外的に発信して区外からも認知してもらう必要があります。

「資源」が「宝」を経て「顔」となるまでのプロセスを図で示すと以下のようになります。共有の度合いは、「資源」が「宝」に、「宝」が「顔」になるほど高まると考えられます。地域の資源を“発見”し、それが“共有”されることで地域の宝になり、さらにそれが広く“情報発信”されることで、地域の顔となっていきます。

部会では、「資源」を「宝」や「顔」に押し上げていくプロセスを具体化し、これに地域単位で多様な世代の住民が関わり楽しみながら参加できるようにしていくことを解決すべき課題として設定しました。



(5) 先行事例・他地域での取組

部会では、地域資源をコミュニティの活性化に繋げている事例として、「野川ふるさとカルタ」に注目し、作成までの経緯や現状について聞きました。

その後、カルタづくりの先行事例として群馬県の「上毛かるた」について調べた結果、カルタづくりには地域の資源を再発見する効果があること、また教育現場などでカルタを活用することで資源の共有が期待できることなど、地域コミュニティの活性化に大きな効果があることがわかってきました。

【野川ふるさとカルタ】

- ・ 宮前区野川では、平成 18 年から 20 年にかけて、宮前第 1 地区社会福祉協議会が中心となり、地域の良さや歴史を知ってもらうための手段としてカルタを制作しました。
- ・ カルタは地域の学校や町会、子ども会などに配布され、現在は絵札を題材に地域を廻るスタンプラリーなどが企画されており、カルタを中心とした地域コミュニティが活性化し始めています。

【上毛かるた】

- ・ 群馬県では、故郷の文化や歴史を子どもたちに伝えるため、昭和 22 年に郷土カルタが制作されました。
- ・ 上毛かるたでは、幅広い題材が読まれており、カルタで取り上げられることで現在まで語り継がれた人物もいるなど地域の文化、歴史を繋ぐ効果的な題材となっています。
- ・ また、発行翌年の昭和 23 年からは上毛かるた県競技大会も開催され、子どもたちが練習に励む姿は風物詩となっています。
- ・ 『少年時代を群馬県で過ごした人は必ず知っている』とまで言われるほど地域の共有財産として認知されています。
- ・ また、カルタを題材に県の名所・歴史・文化などを巡るバスツアーが開催されるなど、子どもから大人まで幅広い世代で活用されています。

3 地域の宝さがしを通じた地域コミュニティの促進に関する具体的な解決策**提案：宮前区のカルタをつくろう！****【趣旨・目的】**

- ・ 幅広い世代が参加して地域の「資源」を探し出し、「宝」・「顔」へと押し上げていく過程を通じて、地域への愛着を涵養し地域コミュニティの活性化を目指します。

【実施内容】**■ みやまえカルタを制作します**

- ・ 平成 24 年度に区政 30 周年記念を迎えることから、その年を目指し区政 30 周年記念みやまえカルタを制作します。

- ・ その前段として、8つの中学校区ごとの地区別カルタを地域が主体となって制作します。
- ・ 区政30周年記念みやまえカルタは、上記地区別カルタから選抜することとします。
- ・ カルタの制作にあたっては、「まち歩き」や地域のワークショップを実施するなどそのプロセスを重視することとし、より多くの区民が参加できる方法を目指すこととします。

■ みやまえカルタを活用します

- ・ 制作されたみやまえカルタは、地域を知り愛着を深めるツールとして、地域版・全区版とも各種イベントや教育現場で積極的に活用するものとします。

【実施主体とその役割】

■ みやまえカルタ制作実行委員会の設立

- ・ みやまえカルタ制作実行委員会(以下「実行委員会」といいます。)において、カルタ作りの基本の方針を策定します。
- ・ 実行委員会では、中学校区ごとの部会を設け、そこで地区別のカルタを制作することとします。部会の実際の活動に際しては、実行委員会のメンバーだけでなく、広く地域から参加者を募ることとします。
- ・ 地区別カルタの制作状況の進行管理・内容調整を行います。
- ・ 多くの人に、地区別カルタの制作過程やその成果を知ってもらうため、発表会イベントを開催することとし、その企画を本委員会が行います。
- ・ 地区別のカルタから選抜される区全体のカルタの選考を行います。

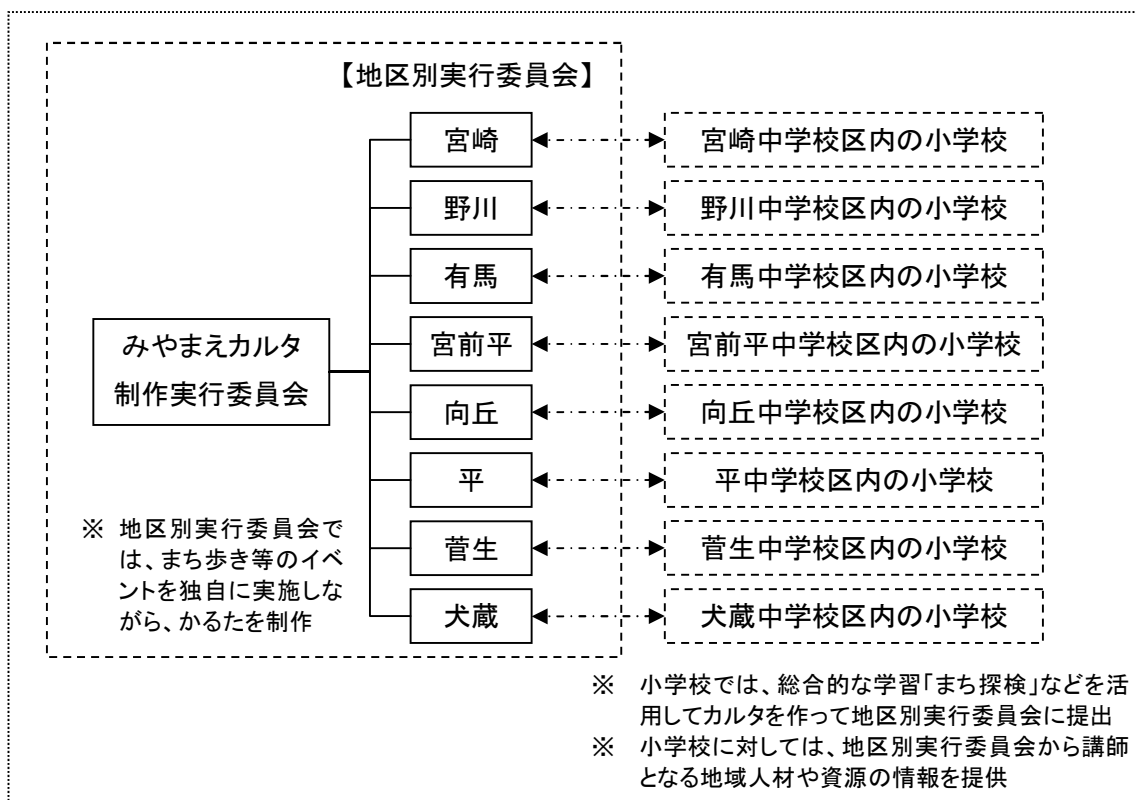
〈実行委員会への参加を呼びかける団体(案)〉

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| ・ 宮前区全町内・自治会連合会 | ・ 宮前区観光協会 |
| ・ 宮前商店街連合会 | ・ 宮前区文化協会 |
| ・ 宮前区老人クラブ連合会 | ・ 宮前区社会福祉協議会 |
| ・ 宮前区民生委員・児童委員協議会 | ・ 宮前区地域教育会議 |
| ・ 宮前区PTA協議会 | ・ グリーンフォーラム 21 みやまえ |
| ・ 宮前区歴史文化調査委員会 | ・ 株式会社フューチャーリンクネットワーク |
| ・ 第2期区民会議委員(若干名) | |
| ・ 区役所(企画課、地域振興課、こども支援室) | |

■ 各小学校での取組

- ・ 総合的な学習の「まち探検」の時間を活用し、小学校区単位で手製のカルタ作りを行ってもらうことを、実行委員会から依頼します。
- ・ 制作されたカルタは実行委員会に提出してもらい、地区別カルタの制作に活用することとします。
- ・ 各小学校に対しては、実行委員会から講師を派遣したり、地域の資源の紹介などを行ったりします。

【実施体制イメージ】



【スケジュール】

- ・ みやまえカルタの制作にあたっては、概ね次のスケジュールで実施することが望ましいものとします。

	取組内容
平成22年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体の実行委員会を立ち上げ →中学校区ごとの部会を立ち上げ
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ まち歩き(テーマ別) ・ 読み札募集 ・ 絵札募集 ・ 地区ごとにフォーラム開催 ・ 読み札選考 ・ 絵札選考 ・ カルタ制作 ・ 地区ごとにカルタ大会を開催
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ カルタの人気投票(インターネット) ・ 区民祭で各地区のカルタのプレゼンテーションと人気投票 ・ 人気投票の結果を受けて、(仮称)区政30周年記念みやまえカルタを制作 ・ 区政30周年記念大カルタ大会の開催
<平成25年度以降> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域のイベントや教育現場での活用 	

目指すべき方向性

地域みんなて共有できる宝物（顔）を通じて地域への誇りや愛着を育み、地域コミュニティの形成を図る。

全体会での意見など

- ・ときめき再発見はいい名前だ。宝が活用されないとときめかない。
- ・地域を高める。観光地として、住まいとしての価値を高める。宮前区には知られていない宝がまだまだある。
- ・新しいものを探すことも重要だが、あるものを利用することで新しいものを作ることも必要。
- ・宮前区がどこかアピールするものがない。
- ・宮前区は縁がたくさんあって、きれいなまちのイメージである。いいまちだと多くの人が思えるようにしたい。

- ・「やってみてみたい」がたくさん出てくると良い。
- ・中学校区単位くらいで、地域のみならず宝物を探してもらえそうな動きにしたい。
- ・身近な地域での宝と区全体の宝の2本立てで考えられたらいいと思う。

宮前区の宝・顔に関する現状と取組

- ◆ **地域資源（宝もの）に関する現状**
歴史文化・自然・活動・都市農業など多くの魅力的な資源はあるが、区民にあまり知られていない。
- ◆ 区内の資源を総括的にまとめたわかりやすい資料が無い。
- ◆ 観光協会が発足し、区内の魅力発信に向けた活動を開始した。
- ◆ 目に見える宝のほか、目に見えない宝として風土などがある。
- ◆ **宮前区に対する内外のイメージ**
自然豊かで閑静な住宅地で、教育水準も高いといわれているが、繁華街が少なく、特徴・シンボルに欠ける面がある。
- ◆ 区のイメージで「とくにない」の回答した区民の割合が市内7区で最も多い（H15、市民1万人アンケート）。
- ◆ 「宮前区ってどんなまち？」と聞かれて、答えられるものや、共通のイメージが無いのではないかと。
- ◆ **その他 宮前区をめぐる現状**
宮前地区と向丘地区は、東名高速道路が概ねその境となっている。
→宮前地区は相模の国の影響が、向丘地区には武蔵の国の影響が残っている？
元々、田園都市線沿線を中心に、良好な住宅地として開発されてきた経緯がある。
メデアア等の露出が多いのは、田園都市線沿線の地域が中心である。

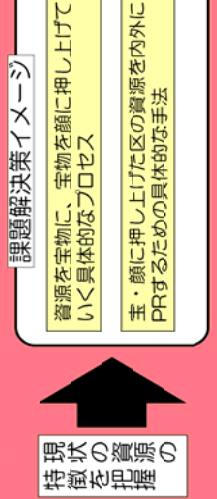
宝や顔があるまちのイメージ

- ◆ 区民一人ひとりにとって・・・
自分の住んでいるまちについて、区外の人を紹介することができる
- ◆ 地域に愛着を持っている（終の棲家とする）
- ◆ 地域を大切に思い、近隣との良好なコミュニケーションが図れている
- ◆ 地域社会にとって・・・
地域に愛着を持つ区民が多くなることで、豊かな地域コミュニティが形成され、地域の課題も地域が主体となって解決にあたっている

解決すべき課題

- ◆ 区の「宝」「顔」となりうる様々な資源を区内で共有し、区外には広くPRする必要がある。
- ◆ PRを効果的に行うためには、資源の特徴をよく把握する必要がある。

【課題解決策に向けた検討手法】



具体的な課題解決策

- ◆ 地域で資源を発掘し、宝・顔にまで押し上げる
- ◆ **提案：宮前区のカルタをつくろう！**

【趣旨・目的】
幅広い世代が参加して地域の「資源」を探し出し、「宝」・「顔」へと押し上げていく過程を通じて、地域への愛着を深め、地域コミュニティの活性化を目指す。

【実施内容】
■みやまえカルタの制作
・平成24年度の区政30周年に向け、「**川原さとカルタ**」をモデルに区政30周年記念みやまえカルタと8つの中学校区ごとの地区別カルタを2年かけて地域主体により制作
・区政30周年記念みやまえカルタは、地区別カルタから選抜して制作
・カルタの制作にあたっては、「まち歩き」や地域のワークショップを実施するなどそのプロセスを重視
■みやまえカルタの活用
・地域を知り愛着を深めるツールとして、制作されたみやまえカルタの地域版・全区版とも各種イベントや教育現場で積極的に活用

【実施主体とその役割】
■みやまえカルタ制作実行委員会の設立
・カルタ作りの基本的方針を策定
・中学校区ごとの部会を設け、そこで地区別のカルタを制作
・地区別カルタの制作状況の進行管理・内容調整
・地区別カルタの制作過程やその成果を知ってもらうための発表イベントを開催
・地区別のカルタから選抜される区全体のカルタの選考
■各小学校での取組
・総合的な学習の「まち探検」の時間を活用し、小学校区単位で手製のカルタ作りを行うってもらうことを、実行委員会から依頼
・制作されたカルタは実行委員会に提出してもらい、地区別カルタの制作に活用
・各小学校に対しては、実行委員会から講師の派遣や地域資源を紹介

資 料 編

資料 1 第 2 期宮前区区民会議委員名簿

資料 2 宮前区区民会議 公園・地域づくり部会 検討経過

資料 3 宮前区区民会議 公園・地域づくり部会 具体的な課題解決策検討資料

資料 4 宮前区区民会議宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会 検討経過

資料 5 区政 30 周年に向けた みやまえカルタの制作 検討資料

資料 6 宮前区の資源一覧

第2期宮前区区民会議委員

No.	部会			氏名	選出区分	分野	団体名等
	企画	公園	宝				
1	◎			★ <small>ながの</small> 永野 <small>まさる</small> 勝	団体推薦	①防災・地域交通	宮前区安全・安心まちづくり推進協議会
2		○		<small>たなべ</small> 田邊 <small>やすあき</small> 保昭 (H21.3 まで部会長)	団体推薦	②福祉・健康	宮前区社会福祉協議会
3		○		<small>よしだ</small> 吉田 <small>こうたろう</small> 亨太郎	団体推薦		宮前区老人クラブ連合会
4		○		<small>ごとう</small> 後藤 <small>ひとみ</small> ひとみ (~H20.11.30)	団体推薦	③子育て・教育	宮前区子ども支援関係者連絡会
			○	<small>くぼ</small> 久保 <small>ひろこ</small> 浩子 (H20.12.1~)			
5	○			☆ <small>かわにし</small> 川西 <small>かずこ</small> 和子 (~H21.4.30)	団体推薦		宮前区地域教育会議
			○	<small>もちだ</small> 持田 <small>まさみ</small> 正美 (H21.5.1~)			
6			○	<small>かわい</small> 河井 <small>あきこ</small> 明子	団体推薦	④自然・生活環境	グリーンフォーラム 21 世話人会
7			○	<small>かわしま</small> 川島 <small>よししげ</small> 芳茂 (~H21.7.31)	団体推薦	⑤産業・まちの活力	宮前区商店街連合会
			○	<small>たにやま</small> 谷山 <small>やすはる</small> 安治 (H21.8.1~)			
8			○	<small>すずき</small> 鈴木 <small>かずこ</small> 和子	団体推薦	⑥文化・観光	宮前区観光協会
9		○		<small>よしおか</small> 吉岡 <small>きよし</small> 清	団体推薦	⑦地域組織・まちづくり	宮前区全町内会・自治会連合会 (向丘地区)
10		○		<small>ふくもと</small> 福本 <small>たかし</small> 尚	団体推薦		宮前区全町内会・自治会連合会 (宮前地区)
11	○		○	<small>まつい</small> 松井 <small>りゅういち</small> 隆一	団体推薦	⑧地域特性	宮前区まちづくり協議会
12	○	◎		<small>さとう</small> 佐藤 <small>としえ</small> 利枝 (H21.4 から部会長)	公 募		
13			○	<small>つねかわ</small> 恒川 <small>やすお</small> 康夫	公 募		
14	○			☆ <small>うがじん</small> 宇賀神 <small>やすし</small> 泰志	区長推薦		第1期区民会議 明日のコミュニティ部会長 (宮前区自主防災連絡協議会)
15		○		<small>すずき</small> 鈴木 <small>けいこ</small> 恵子	区長推薦		第1期区民会議 高齢者福祉部会長 (在宅介護支援ボランティアグループ すずの会)
16	○		◎	<small>たかぎ</small> 高木 <small>かずひろ</small> 一弘	区長推薦		飛森谷戸の自然を守る会
17			○	<small>ちば</small> 千葉 <small>まさゆき</small> 将行	区長推薦		㈱フューチャーリンクネットワーク
18	○			☆ <small>まえだ</small> 前田 <small>まさこ</small> 正子	区長推薦		(財)横浜市国際交流協会
19		○		<small>もくだい</small> 目代 <small>ゆみこ</small> 由美子	区長推薦		第1期区民会議 子ども部会長 (宮前区民生委員・児童委員協議会)
20			○	<small>わたなべ</small> 渡辺 <small>よしお</small> 良雄	区長推薦		第1期区民会議 地域防災部会長 (宮前区全町内会・自治会連合会 (向丘地区))

★……委員長 ☆……副委員長 ◎……部会長 ○……部会メンバー

【参与】

市議会議員

浅野 文直	織田 勝久
飯田 満	佐々木 由美子
石川 建二	平子 瀧夫
石田 康博	矢沢 博孝
太田 公子	山田 晴彦

県議会議員

持田 文男	福田 紀彦 (~H21.10.11)
-------	--------------------

宮前区区民会議 公園・地域づくり部会 検討経過（5月～7月）

区民会議 平成20年 高齢者や子育て支援活動における活用や世代間交流などが期待できる
 全体会 5月23日 「地域の庭」として、公園を審議対象テーマに選定

第1回部会 平成20年 部会名称の決定
 6月16日 具体的な審議テーマについて
 宮前区の公園緑地の現状と課題について

■部会名称は「公園・地域づくり部会」に決定

■具体的な審議テーマ

- ・公園という場を活用した、「高齢者支援、子育て支援、多世代交流、地域コミュニティづくり」といった利活用のあり方（ソフト面）
- ・「地域特性に応じた魅力ある公園づくり」といった公園の維持管理・整備（ハード面）
- ・公園を活用しようにも現実には維持管理の水準が十分でない公園もある
- ・ハード面が十分であるからといって行きやすい・利用しやすい公園には必ずしもならない

【配布資料】

- ・部会の具体的な審議テーマについて（たたき台）
- ・川崎市緑の基本計画（抜粋）
- ・地元管理運営マニュアル
- ・宮前区の公園緑地一覧
- ・公園・緑地等位置図
- ・統計資料

両者を対立させて考えない・・・

■公園緑地の現状と課題について（西部公園事務所から説明）

- ・19年度まで維持管理の予算が減り続けており、行政として十分な維持管理ができていない状態
- ・地域の公園は地域が主体となって維持管理をしていただくのが、現在の川崎の基本方針
 →公園緑地管理運営協議会、公園緑地愛護会の活性化が必要
- ・各委員が公園に対して抱いているイメージや問題意識についてフリートーキング

第2回部会 平成20年 第1回部会の論点整理と今後の議論の進め方について
 7月7日 公園や地域コミュニティ等に関する現状と課題について

■第1回部会を踏まえた議論の方向性

- ・公園整備そのものを目的とするのではなく、公園という場を活用していかに地域コミュニティを活性化させていくか、という目的のもとソフト面・ハード面を含めた解決策を検討していく

【配布資料】

- ・公園・地域づくり部会（第1回）の論点整理と今後の審議の進め方について
- ・議論ペーパー（白紙）
- ・身近な公園の良い点・悪い点一覧表

■今後の審議のスケジュール・進め方

- ・部会設置期間：第2期の期間中を通して審議を行うものとする
- ・部会案の報告時期：現段階では特に定めず、課題解決策がまとまり次第順次報告する

【進め方】

審議の目的を共有



現状と課題の把握



課題の原因分析



課題解決策の審議

■委員による地域の公園の現状把握

- ・第1回部会と第2回部会との間に、部会委員が近所の公園の良い点・悪い点や公園で行われている地域活動などを調査（全22公園）し、その結果を報告
 →今後、この調査を元に良い点・悪い点を一般化し、理想とする公園像を導き出す
 →理想とする公園像をベースに、地域コミュニティの活性化につなげていく方を議論する

宮前区区民会議 公園・地域づくり部会 検討経過（8～10月）

区民会議
全体会

平成20年
8月6日

7月までの審議状況を報告

第3回部会

平成20年
9月12日

公園や地域コミュニティに関する現状について
理想とする公園像について

■「公園・地域に関する現状」をこれまでの議論を踏まえて整理 【配布資料】

- ・別紙 議論ペーパーのとおり
- ・今後議論を進めていく中で、変更や追加がありうることを確認
- ・議論ペーパー
- ・公園の良い点・悪い点一覧表

■理想とする公園像（①望ましい施設、②維持管理のあり方、③地域での使い方 の観点から議論）

①望ましい施設

- ・トイシ、ベンチ、看板、時計、砂場などが「望ましい施設」として例示されたが、地域のニーズや実情によってその必要性が変わるため、区民会議としてその設置自体を提案することはしない

②維持管理のあり方

- ・市だけが管理するもの、公園緑地管理運営協議会も管理しているもの、公園緑地愛護会が除草清掃活動を行っているものなど様々な管理形態があり、何が理想かはさらに検討が必要

③地域での使い方

- ・各種体操や地域お祭りなど、多様な使い方がされている

➔ 「理想とする公園像」をより具体的に検討するために、次回は、参考となる公園の管理者、利用者からヒアリングを実施

第4回部会

平成20年
10月10日

公園での活動に関する取組事例について
（鷺ヶ峰公園管理運営協議会/つくし野「公園あそび応援隊」）

■鷺ヶ峰公園管理運営協議会

- ・自治会と老人会で組織。
- ・これまでの主な活動内容は、除草清掃/花壇づくり/落書き消し/餅つき大会など
- ・メンバーの固定化・高齢化が課題

【配布資料】

- ・公園・地域づくり部会（第3回）議論のまとめ
- ・議論ペーパー

■つくし野「公園あそび応援隊」（町田市）

- ・自治会としての活動ではなく、近隣住民の有志による活動。地域性もあるが、組織化せず、やりたい人・やれる人が関わっていることが継続できているポイント
- ・これまでの主な活動内容は、朝のラジオ体操/防犯パトロール/公園見守りなど
- ・防犯パトロールや公園見守りは、学校と連携して実施。保護者も活動に積極的に参加

第5回部会

平成20年
10月27日

理想とする公園像について
解決すべき課題について

議論ペーパーに基づき、理想とする公園像、解決すべき課題について検討

【配布資料】

- ・公園・地域づくり部会（第4回）議論のまとめ
- ・議論ペーパー

■理想とする公園像

別紙 議論ペーパーのとおり

■解決すべき課題

別紙 議論ペーパーのとおり

■具体的な課題解決策（イメージ）

公園利用者自身によるルールづくりの仕組みと地域での合意形成、公園内への掲示板の設置による情報発信、維持管理だけでなく企画を行う組織の確立（既存組織の刷新）、公園からのまちづくりの必要性のアピールなど

宮前区区民会議 公園・地域づくり部会 検討経過（11～1月）

区民会議
全体会

平成20年
11月16日

10月までの審議状況を報告

第6回部会

平成20年
12月9日

地域の課題の具体的解決策について

議論ペーパーに基づき、解決すべき課題を踏まえ、具体的な課題解決策について検討

■公園の魅力アピール

- ・公園内に掲示板などを設置し、イベント情報などを発信してはどうか。
- ・この部会から公園の魅力をもっとPRしてはどうか。
- ・公園をテーマにした集いを開催することで、公園に関する情報交換、事例報告などができるとよい。

【配布資料】

- ・公園・地域づくり部会（第5回）議論のまとめ
- ・議論ペーパー
- ・公園を活用したコミュニティづくりに向けた提案

■コミュニティのきっかけづくり

- ・既存の団体が行っている活動の中には、コミュニティの視点を取り込めるものがあるので、既存の活動とコミュニティを一体化するための方法を検討する必要がある。
- ・あまり利用されていない公園にどうしたら人が興味を持って来るようになるのか、検討する必要がある。

■維持管理・運営の担い手・組織など

- ・（公園緑地管理運営協議会という制度があることを前提として）公園の維持管理だけでなく企画を行う組織の確立が必要である。
- ・公園に携わる地域の人達の情報共有・交換のために、全区的な集まりがあることが望ましい。
- ・利用者間の調整やルールは、法令の範囲内で地域の実情に応じて公園を利用する人が決めることが望ましい。
- ・「あるべき論」よりも地域にとってのメリットを念頭に置く必要がある。

第7回部会

平成21年
1月20日

地域の課題の具体的解決策について
区民会議フォーラムについて

■議論の視点について

- ・議論の視点としては、「公園の日常的な利用・イベントでの活用」と、「利用調整等を行う組織の確立」などがある。
- ・これまでは、「利用調整等を行う組織の確立」を主に議論してきたが、まず公園を使ってもらわなければ何事も進まない。
- ・このため、まず「公園の日常的な利用・イベントでの活用」を中心に議論を進めていくこととした。

【配布資料】

- ・公園・地域づくり部会（第6回）議論のまとめ
- ・議論ペーパー
- ・公園・地域づくり部会 具体的な課題解決策 検討資料
- ・子育て自主活動グループからみた現状と提案
- ・平成20年度宮前区区民会議フォーラムについて（案）

■コミュニティのきっかけづくり

- ・具体的な手法として、スタンプラリー、水遊び、体操などの提案が出された。
- ・大きなイベントだけでなく、日常的に「何か」が行われていることが、結果として公園利用の促進につながり、コーディネート者の育成や管理運営協議会への発展へとつながるのではないかと。

■区民会議フォーラムについて

- ・地域活動事例の紹介として、自主保育活動をしている「ポレボレ」に参加を依頼することに決定。
- ・分科会での意見交換の視点として次の点があげられた
 - ①公園でやりたいこと
 - ②公園デビューに必要なこと
 - ③理想の公園となるのに必要なこと

宮前区区民会議 公園・地域づくり部会 検討経過（2～4月）

平成二十一年度

第8回部会

平成21年
3月5日

区民会議フォーラムについて
具体的な課題解決策について～公園の魅力をアピールする方法～

■区民会議フォーラム（3月15日開催）について

- ・区民会議フォーラム分科会の検討項目、進行方法、役割分担について決定。
- ・各団体に対して、口コミで参加を呼びかけることを確認。

【配布資料】

- ・平成20年度宮前区区民会議フォーラム分科会（公園・地域づくり）の進め方について（案）
- ・議論ペーパー
- ・公園地域づくり部会 具体的な課題解決策 検討資料

■掲示板の設置について

- ・掲示板の設置に当たっては、管理する組織が必要である。
- ・公園に設置する掲示板は、一般的な行政や自治会の情報ではなく、公園のイベント、管理日程など、コミュニティづくりに寄与する情報を掲示する。
- ・掲示板の制作に公園で剪定した木を使用するなど、掲示板の設置に利用者が参加することで、掲示板の設置過程がコミュニティ形成につながる。

区民会議フォーラム

平成21年
3月15日

平成20年度検討内容の報告

委員参与との
意見交換会

平成21年
4月20日

中間報告等に関する委員参与との意見交換

平成21年度
第1回部会

平成21年
4月22日

今後のスケジュールと進め方について
具体的な課題解決策について

■今後のスケジュールと進め方について

- ・9月の部会で議論をまとめ、11月の第3回区民会議全体会で、提案内容をオーソライズするスケジュールで、今後の検討を進める。
- ・実現に結びつけるには、提案内容に加え、どのように文章化するかが重要である。
- ・文章表現については、11月以後も引き続き検討する。

【配布資料】

- ・今後のスケジュールと進め方について（案）
- ・公園・地域づくりアンケートのまとめ
- ・議論ペーパー

■掲示板の設置について

- ・公園で実施されるさまざまな活動を通して、コミュニティを活性化させることを目的とした情報を発信するために、掲示板を設置する。
- ・掲示板の設置に当たっては、維持管理する主体を明確にしておく必要がある。
- ・公園を利用する団体が、掲示板の設置、利用を通して連携ができ、公園の維持管理への参加に結びつくと良い。
- ・掲示板以外にも、ホームページなどを情報発信手段として活用する。

■公園に目を向けてもらうためのイベントの実施について

- ・公園の日を設定し、公園に目を向けてもらうためのイベントを開催する。
- ・ディスカバーウォーク、スタンプラリー、写真コンテスト、公園体操など、既存の活動とうまく結びつける。
- ・公園に目を向けてもらうためのイベントの実施にプレーパークが位置づけられているが、宮前区ならではの支援の仕組みが確立できると目玉になる可能性があるため、別立てしてもよい。

平成二十一年度

宮前区区民会議 公園地域づくり部会 検討経過 (5月～7月)

区民会議
全体会

平成21年
5月29日

部会検討経過の報告

第2回部会

平成21年
6月23日

具体的な課題解決策について

■具体的な課題解決策について

【プレイパークの必要性】

- ・プレイパークは、単なる子どもの遊び場ではなく、新しい地域コミュニティの拠点である。

【プレイパークの進め方】

- ・プレイパークのルールづくりを進める。
(ルールの必要性を提案。策定については別組織で行う。)
- ・区内のモデルとなる受け皿を設定する。

【宮前区版プレイパークの提案】

- ・単なる子どもの遊び場ではなく、公園を活用した地域コミュニティの活性化の活動(例：餅つき等)ができる仕組みを作る。
- ・プレイパークを踏まえた新たなコンセプト、名称が打ち出せると良い。

【配布資料】

- ・議論ペーパー
- ・プレイパークについて

第3回部会

平成21年
7月28日

具体的な課題解決策について

■具体的な課題解決策について

【宮前区公園遊びの日の設定、日常的に公園を利用できる仕掛けづくり】

- ・公園に目を向け、公園遊びを広めるためのイベントやプレイリアカーなどについて、各団体に持ち帰り、具体的にどんなことが実現可能なのか、解決策の実現に向け検討を進める。

例) 統一美化デーに合わせた開催案

美化活動の終了後、午後に公園でイベントを行うなど

【宮前区版プレイパークの推進】

- ・宮前区版プレイパークの実現に向けたルールづくり
区の要綱策定/プレイリーダー養成支援/新たな活動の普及促進

【維持管理・運営の担い手・組織など】

- ・公園の維持管理・運営の担い手は、一義的には公園緑地管理運営協議会の役割であるが、その他のグループであっても個別の活動については運営の担い手になりうる。
- ・活動を通じて、地域で主体的に動ける担い手を育てていく。関わってくれた市民を担い手とするために「背中を押してあげる」手法を検討する。

【配布資料】

- ・議論ペーパー
- ・第2回部会 確認事項(別紙)
- ・ディスカバーウォーク(参考)
- ・フォトコンテスト(参考)

宮前区区民会議 公園地域づくり部会 検討経過 (8月～11月)

区民会議
全体会

平成21年
8月4日

第1期提案の取組状況
部会検討経過の報告

第4回部会

平成21年
9月3日

具体的な課題解決策について

■具体的な課題解決策について

【宮前区版 冒険遊び場】

- ・宮前区版の冒険遊び場を積極的に支援するためのルールを、支援検討委員会を組織して策定する。
- ・委員会メンバーは、既存団体や子育て・青少年団体、行政などとする。
- ・各公園の使い方のルールは、実際の公園の利用者や管理組織がそれぞれ決める。

【宮前区公園の日】

- ・「公園の日」を設定し、イベントなどの開催を地域に呼びかける。既存の活動を上手につないだり重ねたりしながら、公園を意識したイベントを開催し、公園に目を向けてもらえるようにする。
- ・「歳時記みやまえ」をモデルに、各公園で行われている活動を紹介する公園イベント情報誌を発行する。

【配布資料】

- ・議論ペーパー
- ・課題解決策案

第5回部会

平成21年
10月13日

部会報告書（案）について

■具体的な課題解決策について

提案①：公園を知ってもらおう～公園内に掲示板などを設置～

- ・公園緑地管理運営協議会以外に、愛護会の活動を紹介し、活動をサポートする。
- ・掲示板の設置に当たっては、景観・美観に配慮する。

提案②：「冒険あそび場」をひろめよう！

- ・モデル公園については、冒険あそび場支援検討委員会の中で決定する。
- ・検討委員会には、公募委員を加える。

提案③：もっと公園で遊ぼう～宮前区公園の日の設定～

- ・「遊ぼう」では子どもだけの印象がある。子どもから大人までが公園を“意識化”できるタイトルとする。
- ・4月と11月を宮前区公園月間とする。それ以外の月のイベント等については、歳時記みやまえ公園版でおぎなう。

※公園・緑地管理運営協議会について

- ・提案④として取上げる。ただし、担い手が区民主体ではないので、表現方法を検討する。

【配布資料】

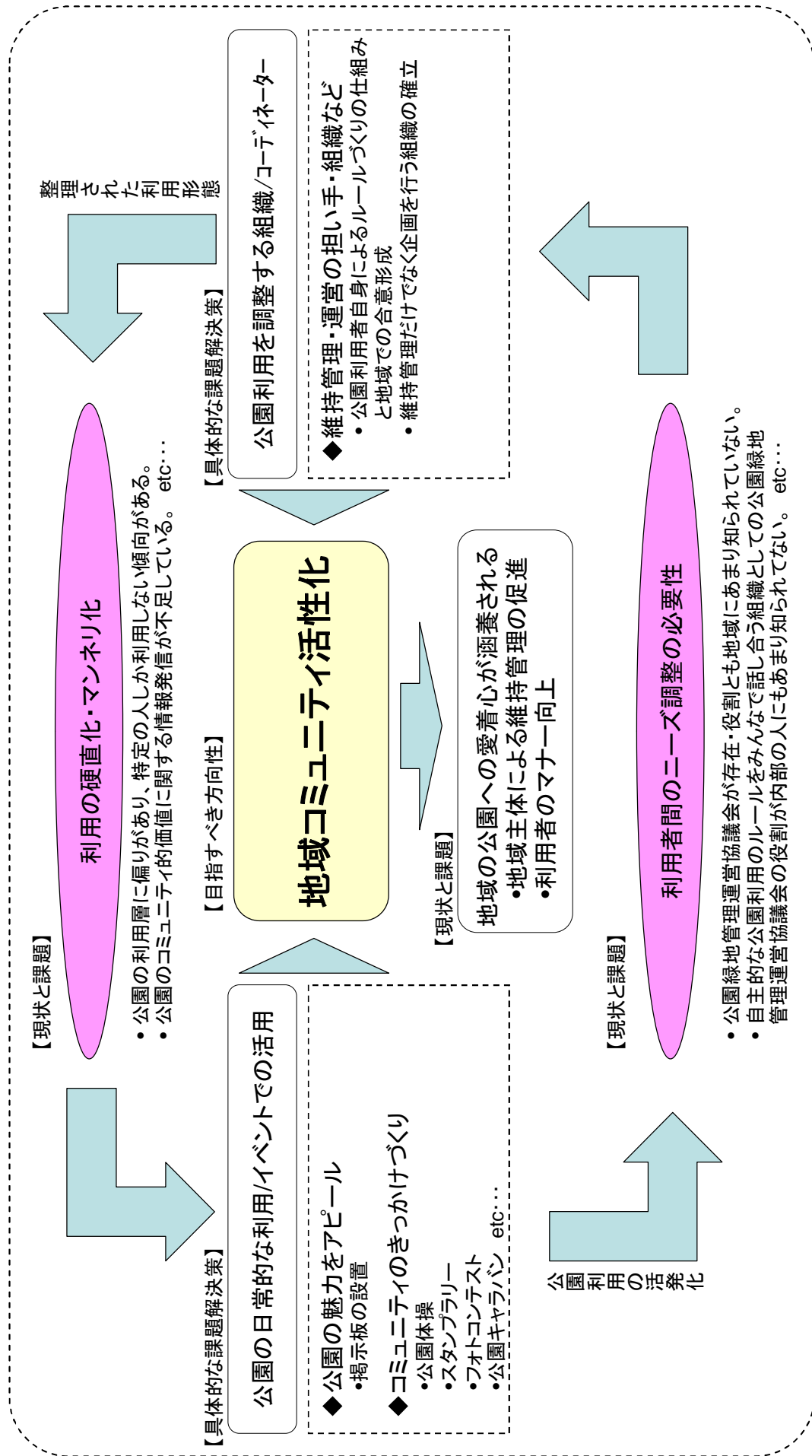
- ・宮前区区民会議 公園・地域づくり部会 報告書（案）

区民会議
全体会

平成21年
11月13日

宮前区区民会議第2期
報告書作成に向けた部会報告の検討

公園・地域づくり部会 具体的な課題解決策 検討資料



宮前区区民会議 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会 検討経過 (5月～7月)

区民会議 平成20年 文化・観光、緑、産業、まちづくりパワーなど様々な課題を包含する
全体会 5月23日 宮前区らしさ(=宮前区の顔)を審議テーマに選定

第1回部会 平成20年 部会名称の決定
6月23日 具体的な審議テーマについて

■部会名称は「宮前区の宝さがし部会～ときめき再発見～部会」に決定

- ・部会名称決定に先立って行われた、フリートーキングで出された「再発見」「ときめき」「宝物」「地域」などのキーワードをもとに、協議の結果「宮前区の宝さがし部会～ときめき再発見～」を部会名称として決定した。

■具体的な審議テーマについて

- ・各委員の考える或いは知っている宮前区の「顔」や「宝」についてフリートーキングを実施
⇒出された意見は、次の項目に分類
- ①なぜ「顔」や「宝さがし」が必要なのか？
- ②なぜ宮前区には「顔」といえるようなものがないのか？
- ③どうなれば、それが宮前区の「顔」「宝物」と言えるか？
- ④どんなものが宮前区の「顔」や「宝物」となりうるか？
- ⑤課題解決策提案の上で鍵になりそうなこと
- ⑥参考になりそうな事例や他地域の話

【配布資料】

- ・宮前区の『顔』 検討対象絞込みのためのメモ
- ・宮前区の『顔』づくりに関する委員意見・提案
- ・宮前区観光資源一覧

第2回部会 平成20年 今後の審議の進め方について
7月15日 宮前区の宝をさがす目的について
宮前区のイメージについて

■今後の審議のスケジュール・進め方

- ・結果的に公園・地域づくり部会と同様の進め方となった
(任期2年間を通して審議していく)

■宮前区の宝をさがす目的

- ・宮前区の宝を探すこと目的(宝や顔があることによるメリット、宝や顔を持つことで最終的に目指すもの)について意見交換
⇒具体的な結論には至らなかったが、次のようなキーワードが出された
共有意識・コミュニケーション・まちへの愛着・より良いまちにしていこうという意欲・目に見える宝物と見えない宝物(風土) etc...など

【配布資料】

- ・宮前区の宝さがし部会～ときめき再発見～の審議の進め方について
- ・議論ペーパー(白紙)
- ・宮前区の宝をさがす目的を確認するための議論用メモ
- ・現在の宮前区の成り立ちと開発等との関係について
- ・ホームページや雑誌等の紹介にみる「宮前区」
- ・川崎市政及び区政に関する市民1万人アンケート(抜粋)
- ・宮前区の地域資源一覧

■内外から見た宮前区のイメージ ～「宝」をさがすための1つの手がかりとして～

- ・現在の宮前区がどういった経緯でまちづくりが行われてきたのか、「多摩田園都市構想」の概略を共有
⇒特に宮前地区については、特定の会社の戦略のもと「良好な住宅地」という一定のイメージのまちづくりが行われてきた
- ・雑誌やホームページでの宮前区の紹介のされ方をみると、「住環境がよい」という評価がある反面、これといった目玉施設がないため紹介も少ないという現状
- ・宮前区に住んでいる人が宮前区をどのようにイメージしているかという調査では、「自然が豊か」という回答が最も多かったが、それでも麻生区や多摩区に比べれば少ない割合であった。また、「特にない」と回答した割合が7区の中で最も多かったのが特徴的(資料3-2参照)

⇒こうした宮前区のイメージ(実態と合っているかどうかは別として)も踏まえながら、今後の議論を進めていく(現在の審議段階:現状と課題の把握)

宮前区区民会議 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会 検討経過
(8月～10月)

区民会議 平成20年 7月までの審議状況を報告
全体会 8月6日

第3回部会 平成20年 宮前区の宝・顔に関する現状と取組について
9月22日 宝や顔があるまちのイメージについて

■宝物となりうる資源の分類・整理がまず必要である

現状について議論する中で、宝物となりうる資源の分類・整理の必要性について議論された

- ・大分類としては、4～5分類くらいに分けられると良い
- ・これからつくりあげていくもの、すでにあるもの
- ・ハードとソフト又は、見えるもの、見えないもの
- ・観たい価値、買いたい価値、住みたい価値

【配布資料】
・議論ペーパー

■地域の資源はどうなったら「宝物」や「顔」と言えるのか？

- ・宝物になるということ、顔になることの意味は少し違う
- ・宝物は秘伝・秘密の物や潜在的な物もあるが、顔は外から見ても明らかな存在
- ・より広い範囲の人々から見ても「宝物」と言えるものが「顔」である
- ・顔はいくつもあってはおかしい。顔というところ度絞り込まれる
- ・宝物を顔に「押し上げていく」のではないか
- ・顔には戦略が入っている

第4回部会 平成20年 課題解決策に向けた進め方について
10月24日 地域の資源について

■資源の性質別の分類

資源の性質別の分類として次の5項目を選定

- | | |
|-----------|---------------------|
| ① 自然 | 風景・緑・水・生物・植物など |
| ② 歴史文化 | 史跡・伝承・芸術・ゆかり人物など |
| ③ 暮らし・産業 | 産物・農業・工業など |
| ④ ふれあい・交流 | イベント・スポーツ・市民活動など |
| ⑤ まち・施設 | 商店街、ランドマーク、建築物、施設など |

【配布資料】

- ・宮前区の資源の整理・課題解決策の提案に向けた検討資料
- ・議論ペーパー
- ・宮前区の資源（宝物・顔の候補）

■資源を「楽しむ」という視点での分類

資源の価値を評価する指標として次の3項目を選定

- ① みたい（見・観）・ききたい（聞・聴）
- ② 買いたい・食べたい
- ③ やってみたい

■具体的な課題解決策イメージ

- ・資源を宝物に、宝物を顔に押し上げていく具体的なプロセス
- ・宝・顔に押し上げた区の資源を内外にPRするための具体的な手法

宮前区区民会議 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会 検討経過
(11月～1月)

区民会議 平成20年 10月までの審議状況を報告
全体会 11月16日

第5回部会 平成20年 地域の資源について
12月16日 具体的な課題解決策について

■宮前区の資源（宝物・顔の候補）の取り扱いについて

- ・区民会議が宝物・顔を決めるわけではなく、今後、宝物・顔を作りあげていくにあたって、区民会議として地域に提示できる「資源」に留めておくもの
- ・現在の資源は、事務局の作成したものに、部会委員の意見が反映されたものなので、もっと広く区民から募ってみる必要がある。

【配布資料】

- ・宮前区の資源（宝物・顔の候補）
- ・議論ペーパー

■具体的な課題解決策について

- ・コミュニティの活性化を目指すことを考えると、地域ごとに宝を発見するプロセスそのものが重要となる。
- ・子どもが参加できるような仕掛けがあるといい。
- ・具体的な課題解決策を検討するにあたり、地域のイベントや各種団体に宝さがしをしてもらってはどうか。

第6回部会 平成21年 具体的な課題解決策について
1月16日 区民会議フォーラムについて

■具体的な課題解決策について

- ・具体的な課題解決策を審議するためのシミュレーションとして、地域のイベントなどの機会や各種団体に宝さがしを行ってもらおう。
- ・この宝さがしは、2～3月に行われるイベント（まちづくり広場ラブみやまえ(2/21)、ディスカバーウォーク(2/22)、文化講演会(2/28)、みやまえ映像コンクール(2/28))で協力してもらったり、区民会議委員が所属する団体に依頼するなどしてできるだけ年度内に宝を出してもらおうようし、区民会議フォーラムに活かす。
- ・この宝さがしでは、どのような宝が出てくるか、どのような出され方(≒協力度合い)といった点も含めて検証する。

【配布資料】

- ・議論ペーパー
- ・宮前区の資源一覧(カテゴリ別・地域別)
- ・平成20年度宮前区区民会議フォーラムについて(案)

■区民会議フォーラムについて

- ・地域活動事例の紹介として、野川カルタに取り組んでいる地域に参加を依頼することに決定。
- ・分科会では、地域の宝・宮前区の顔に関する「夢」を語り合うこととし、この「夢」を踏まえて、今後の審議を深めていくこととした。

宮前区区民会議 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会 検討経過
(2月～4月)

平成二十年度

第7回部会 平成21年 3月3日 区民会議フォーラムについて
今後の議論の方向性について

■区民会議フォーラム（3月15日開催）について

- ・区民会議フォーラム分科会の検討項目、進行方法、全大会での発表も含めた役割分担について決定。
- ・FMかわさきでのPRについて、永野委員長の出演を決定。

■今後の議論の方向性について

- ・みやまえ映像コンクールについて地域の資源を紹介する手法のひとつとして捉え、区民会議フォーラム会場で映像を流すことを決定。
- ・地域対抗の宝物コンペ、区民の観光大使など、地域の資源や宝物を発掘、共有していくアイデアについて意見交換した。

【配布資料】

- ・平成20年度宮前区区民会議フォーラム分科会（宝さがし）の進め方について（案）
- ・議論ペーパー
- ・具体的な課題解決策 検討資料

区民会議フォーラム 平成21年 3月15日 平成20年度検討内容の報告

平成二十一年度

第1回部会 平成21年 4月13日 今後のスケジュールと進め方について
具体的な課題解決策について

■今後のスケジュールと進め方について

- ・9月の部会で議論をまとめ、11月の第3回区民会議全体会で、提案内容をオーソライズするスケジュールで、今後の検討を進める。

■具体的な課題解決策について

- ・小学校区～中学校区単位を基本とした地域での資源や宝物の発掘、共有作業を進める。
- ・メタボ対策ウォーキングマップ、眺望ポイントマップ、お花見マップ、昆虫マップ、駅周辺観光マップなど地域レベルでの様々なテーママップづくりに地域やそれぞれの活動団体が特色を活かしながら取り組む。
- ・野川カルタや映像コンクールなどの取組がより広く区民に知られ、地域の魅力を紹介する活動として区域全体に広がるようにする。
- ・それぞれの取組に更なる演出や”お楽しみ”を加え、様々な背景を持つ区民や、多世代の区民が参加できるように工夫する。
- ・できる地域からモデル的に取組を実施し、手法の検証、検討等行いながら、段階的に取組を広げていく。

【配布資料】

- ・今後のスケジュールと進め方について（案）
- ・宮前区の宝さがしアンケートのまとめ
- ・議論ペーパー

委員参与との意見交換会 平成21年 4月20日 中間報告等に関する参与との意見交換

宮前区区民会議 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会 検討経過
(5月～8月)

区民会議
全体会

平成21年
5月29日

部会検討経過の報告

第2回部会

平成21年
6月25日

具体的な課題解決策について

■具体的な課題解決策について

マップづくりの手法や形式

- ・グリーンフォーラム21みやまえや平瀬川流域まちづくり協議会のマップづくりの実例を参考にしたマップづくり
- ・レイヤー形式の導入による多様な地図の組み合わせ

かるたづくりの手法や形式

- ・群馬県人なら誰でもしているという「上毛かるた」の事例の紹介
- その他・全体の進め方など
- ・既存の活動をベースに地域を巻き込んでいく
- ・メディアの活用や宝自慢コンペについての意見交換 など

【配布資料】

- ・議論ペーパー
- ・宮前区の資源一覧
- ・他地域における先進事例について（上毛かるた）

第3回部会

平成21年
7月9日

具体的な課題解決策について

■具体的な課題解決策について

- ・区政30周年（H24）に向け、8地区（中学校区）別の資源カルタの制作に取り組む。
- ・地区毎に市民活動団体や地域の人材が核となる、実行委員会を立ち上げる。
- ・教育現場、特に小学校の総合学習の場で活用してもらえるかるたを目指し、小学生をメインターゲットとする。
- ・区政30周年の記念事業の一環として、8地区別の資源かるたから選抜された宮前区の宝物かるた（仮称）の制作に取り組む。
- ・完成したカルタの活用を通して、宮前区の資源を宝に、宝を顔に押し上げていく。

※今後の検討課題

取組のスケジュール、担い手、趣旨説明のチラシ作成など取組計画の具体化

【配布資料】

- ・議論ペーパー
- ・具体的な課題解決策の検討に向けての整理
- ・宮前区の資源一覧
- ・平瀬川まちづくり協議会のマップづくり関連資料（松井委員提供）

区民会議
全体会

平成21年
8月4日

部会検討経過の報告

宮前区区民会議 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会 検討経過
(9月～)

平成二十一年度

第4回部会

平成21年
9月7日

具体的な課題解決策について

■具体的な課題解決策について

カルタづくりの手法や形式

- ・推進組織としてみやまえカルタ製作実行委員会を区内関係諸団体に呼びかけて立ち上げる。部会委員も参加する。
- ・小学校の総合的な学習の時間、「まち探検」の中にカルタづくりを組み込んでいただけるように働きかける。
- ・野川カルタの手法や形式を基本形に、できる地域から地域版のカルタを作成していく。学校教育の場で継続的に使われていくようなカルタを目指す。
- ・区民会議フォーラムの場などを活用して、全区的に先行地域の活動成果や作品を発表、情報交換する場を設けていく。
- ・区政30周年事業として、地域版からの選抜による全区版カルタ作成を進める。イベントなどを通じて、機運を盛り上げていく。

【配布資料】

- ・議論ペーパー
- ・提案模式図
- ・宮前区の資源一覧

第5回部会

平成21年
10月16日

部会報告書（案）について

■具体的な課題解決策について

- ・カルタ製作の過程がコミュニティづくりになることを強調したい。
- ・絵札については、地区別カルタの段階では閤地域の創意工夫を活かしたものとし、区全体のカルタを作成する際には統一感のあるイラストとする。
- ・出来上がったカルタは簡易版があると普及しやすいのでは。
- ・製作実行委員会の取り組みをスムーズに進めるため、提案内容が固まった後に準備会を発足し準備を進めてもよい。
- ・年度が変わる前に動き出し、各地域に説明に行く際の資料やマニュアルなどの検討はどんどん進めたい。

【配布資料】

- ・部会報告書（案）

区民会議
全体会

平成21年
11月13日

宮前区区民会議第2期 報告書（案）の検討

宮前区区民会議 宮前区の宝さがし〜ときめき再発見〜部会
課題解決策提案：区政30周年に向けた みやまえカルタの制作 検討資料

取組の前提

- 資源の整理・データ化
 - 楽しみ方3分類
 - ・ みたい/ききたい
 - ・ 買いたい/食べたい
 - ・ やってみたい
 - 資源5大分類
 - ・ 自然
 - ・ 歴史文化
 - ・ 産業
 - ・ 人/活動
 - ・ まち/施設

- 実施地域〜中学校区で〜

実施地域は中学校単位とするが、実施主体については、地域の実情に応じて柔軟に対応

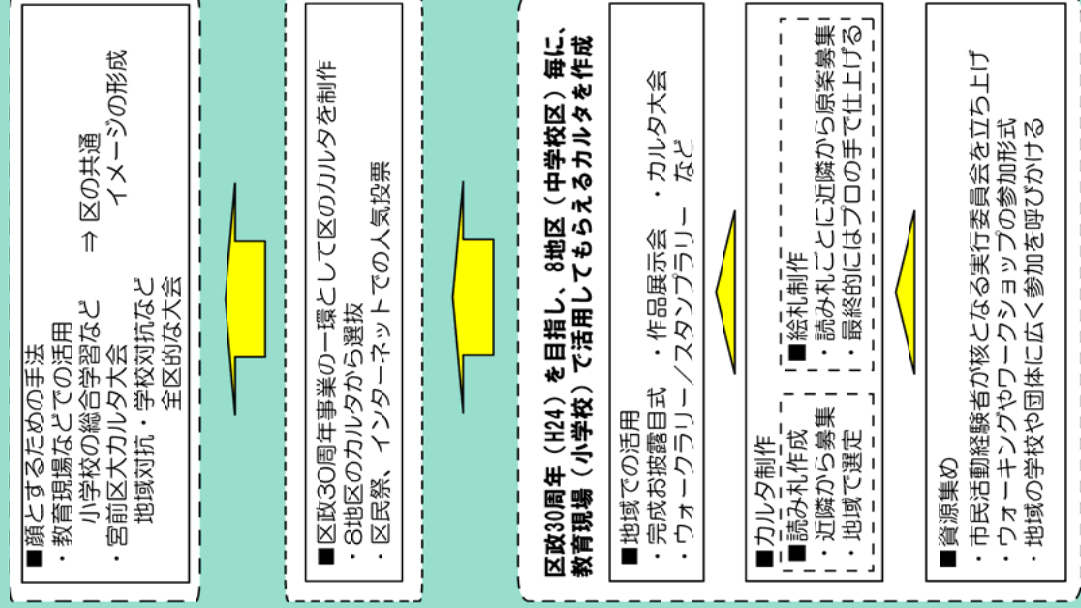
- 実施主体〜区民参加で〜
 - 実施主体の核
 - ・ ワークショップやまちあるきなどの資源発掘の実績がある団体
 - 一緒に取り組む団体など（例）
 - ・ 小学校(総合学習等への取り入れ)
 - ・ 町内会・自治会
 - ・ 老人会
 - ・ 地区社会福祉協議会
 - ・ 地区民生委員・児童委員協議会
 - ・ 体育指導員会
 - ・ 青少年指導員会
 -

宮前区の宝探し
地域しべルで地域の”資源”を
発掘・再認識し、共有しよう！

- カルタづくり
 - 形式
 - ・ 地域資源を題材とした絵札・読み札の作成
 - ・ 俳句や短歌形式の取入れなど
 - 事例
 - ・ 区内：野川ふるさとカルタ
 - ・ 市内：川崎市制80周年記念かわさきかるた
 - ・ 市外：上毛かるた(群馬県全域)

- マップづくり (オプション)
 - 形式
 - ・ テーマに沿った地域資源をプロット
 - ・ テーマ別にレイヤー形式で
 - ・ 写真やイラストとの組み合わせ
 - テーマ例
 - ・ メタボ対策ウォーキング/ジョギング、生き物/昆虫
 - ・ 名木/お花見/ガーデニング
 - ・ 坂/眺望ポイント
 - 事例
 - ・ グリーンフォーラム21みやまのマップづくり
 - ・ 平瀬川流域まちづくり協議会のマップづくり

資源の発掘・共有のプロセス



■ 顔とするための手法
 ・ 教育現場などでの活用
 ・ 小学校の総合学習など
 ・ 宮前区大カルタ大会
 ・ 地域対抗・学校対抗など
 ・ 全区的な大会
 ⇒ 区の共通イメージの形成

■ 区政30周年事業の一環として区のカルタを制作
 ・ 8地区のカルタから選抜
 ・ 区民祭、インターネットでの人気投票

区政30周年 (H24) を目指し、8地区 (中学校区) 毎に、
 教育現場 (小学校) で活用してもらええるカルタを作成
 ■ 地域での活用
 ・ 完成お披露目式 ・ 作品展示会 ・ カルタ大会
 ・ ウォークラリー/スタンブラリー など

■ カルタ制作
 ■ 読み札作成
 ・ 近隣から募集
 ・ 地域で選定
 ■ 絵札制作
 ・ 読み札ごとに近隣から原案募集
 ・ 最終的にはプロの手で仕上げ

■ 資源集め
 ・ 市民活動経験者が核となる実行委員会を立ち上げ
 ・ ウォーキングやワークショップの参加形式
 ・ 地域の学校や団体に広く参加を呼びかける

今後の検討課題：取組の具体スケジュール、担い手、地域や諸団体への呼びかけのための資料作成など

町名	大分類	中分類	資源名	みたい・ききたい	買いたい・食べたい	やってみたい		
区内全域	自然	緑・緑地・公園 植物	宮前区の里山	○				
			宮前区の花・コスモス	○				
			宮前区の木・サクラ	○				
	歴史文化	伝承・民俗文化	宮前音頭	○		○		
			武蔵野音頭	○		○		
	産業	食べ物	宮前のブロッコリー		○			
			宮前のトマト		○			
			宮前のダイコン		○			
	まち・施設	農業	盛んな都市農業			○		
			道	○				
野川	自然	緑・緑地・公園 水 植物	野川十三坊台特別緑地保全地区	○				
			野川ふれあいの森	○				
			南野川ふれあいの森	○				
			矢上川・有馬川水系	○				
			影向寺のイチヨウ、サルスベリ	○				
			影向寺の乳イチヨウ	○				
			野川梅の里	○				
			野川のコスモス畑	○				
			歴史文化	史跡・遺跡	野川神社境内遺跡	○		
					十三菩提遺跡	○		
伝承・民俗文化	野川囃子					○		
産業	食べ物	寺社仏閣	和田八幡宮	○				
		西蔵寺	○					
		影向寺	○					
		野川神明社	○					
まち・施設	商店	宮前メロン		○				
		お好み甘納豆		○				
東有馬	自然	水 植物	天然酵母のパン屋		○			
			矢上川・有馬川水系	○				
	歴史文化	寺社仏閣	下有馬不動尊のヤブツバキ	○				
			長善寺	○				
	まち・施設	施設	有馬療養温泉旅館		○			
			有馬療養温泉旅館		○			
	有馬	自然	水 植物	矢上川・有馬川水系	○			
				有馬椿の里	○			
				有馬植木の里	○			
				有馬梅林公園	○			
有馬つつじ公園				○				
ケヤキ				○				
歴史文化		歴史のある道 伝承・民俗文化	大山街道	○		○		
			有馬囃子			○		
			有馬大正踊り八木節	○		○		
			寺社仏閣	有馬神明神社	○			
まち・施設	その他	福王寺	○					
		有馬不動堂	○					
		川崎考古学研究所	○					
		ペット業界のパイオニア店舗		○				
鷺沼	自然	緑・緑地・公園	カッパーク鷺沼	○				
	歴史文化	歴史のある道	大山街道	○		○		
	まち・施設	ランドマーク・モニュメント	(駅前のシンボル)	○				
土橋	自然	緑・緑地・公園	フロントOWN鷺沼			○		
			鷺沼ポウル			○		
	歴史文化	伝承・民俗文化	カッパーク鷺沼	○				
			土橋万作踊り	○		○		
			護符・オオカミ伝説	○				
			寺社仏閣	正福寺	○			
	まち・施設	施設	土橋神社	○				
			東名川崎IC	○				

宮前区区民会議で把握した地域の資源一覧

町名	大分類	中分類	資源名	みたい・ききたい	買いたい・食べたい	やってみよう
宮前平	歴史文化	歴史のある道	大山街道	○		○
		寺社仏閣	八幡神社	○		
	まち・施設	施設	天然温泉 湯けむりの庄		○	
小台	自然	緑・緑地・公園	カッパーク鷺沼	○		
		植物	イヌツゲ・イロハカエデ	○		
	歴史文化	歴史のある道	大山街道	○		○
犬蔵	自然	水	湧水	○	○	
		生物	ホタル	○		○
	歴史文化	寺社仏閣	犬蔵天神社	○		
水沢	自然	緑・緑地・公園	菅生緑地	○		
		水	平瀬川水系	○		
	歴史文化	伝承・民俗文化	平瀬川の歌	○		○
		寺社仏閣	如意院	○		
	産業	食べ物	産みたて卵		○	
まち・施設	施設	川崎市中央卸売市場北部市場	○	○		
潮見台	歴史文化	史跡・遺跡	潮見台遺跡	○		
菅生ヶ丘	自然	水	平瀬川水系	○		
	歴史文化	寺社仏閣	八雲神社(天王社)	○		
菅生	自然	緑・緑地・公園	生田緑地	○		
		水	平瀬川水系	○		
		植物	イトヒバ	○		
	歴史文化	歴史のある道	鎌倉古道	○		○
		伝承・民俗文化	初山の獅子舞	○		
			平瀬川の歌	○		○
		寺社仏閣	秋月院	○		
			長安寺	○		
		菅生神社	○			
まち・施設	ランドマーク・モニュメント	蔵敷交差点モニュメント	○			
五所塚	自然	緑・緑地・公園	生田緑地	○		
	歴史文化	史跡・遺跡	権現台遺跡	○		
平	自然	緑・緑地・公園	生田緑地	○		
		水	平瀬川水系	○		
		植物	白幡八幡大神のクスノキ	○		
			平中学校の保存樹林	○		
			ケヤキ	○		
	歴史文化	伝承・民俗文化	平瀬川の歌	○		○
			平囃子	○		○
			白旗八幡大神の禰宜舞	○		○
	産業	食べ物	わがままいちご		○	
			唐辛子エッセンス		○	
南平台	産業	食べ物	ハーブビネガー		○	
			カップブディング		○	
初山	自然	緑・緑地・公園	生田緑地	○		
		水	湧水	○	○	
		生物	ホタル	○		○
	歴史文化	伝承・民俗文化	初山の獅子舞	○		
		寺社仏閣	本遠寺	○		
神木本町	自然	緑・緑地・公園	東高根森林公園	○		
		水	平瀬川水系	○		
		植物	東高根のシラカシ林	○		
			等覚院のツツジ	○		
				東高根遺跡	○	
	歴史文化	史跡・遺跡	平瀬川の歌	○		○
		伝承・民俗文化	長尾寺	○		
		寺社仏閣	神木天満宮	○		
	産業	食べ物	神木山等覚院	○		
			神木とろ〜りプリン		○	

宮前区区民会議で把握した地域の資源一覧

町名	大分類	中分類	資源名	みたい・ききたい	買いたい・食べたい	やってみたい
宮崎	自然	植物	NEC跡地の街路樹など	○		
	歴史文化	歴史のある道	大山街道	○		○
	まち・施設	施設	電車とバスの博物館	○		
馬絹	自然	植物	泉福寺のイチョウ・サルスベリ	○		
	歴史文化	史跡・遺跡 寺社仏閣	馬絹古墳	○		
			泉福寺	○		
			馬絹神社	○		
			慈照寺	○		
			浄照寺	○		
	産業	食べ物	馬絹の小菊		○	
		馬絹の花桃		○		

宮前区区民会議で把握した地域の資源一覧

大分類	中分類	資源名	町名	みたい・き きたい	買いたい・ 食べたい	やって みたい		
自然	緑・緑地・公園	宮前区の里山	区内全域	○				
		南野川ふれあいの森	野川	○				
		野川ふれあいの森	野川	○				
		野川十三坊台特別緑地保全地区	野川	○				
		カッパーク鷺沼	鷺沼	鷺沼	○			
			土橋	土橋	○			
			小台	小台	○			
		菅生緑地	水沢	○				
		生田緑地	菅生	菅生	○			
			五所塚	五所塚	○			
			平	平	○			
			初山	初山	○			
		東高根森林公園	神木本町	○				
		水	矢上川・有馬川水系	野川	野川	○		
				東有馬	東有馬	○		
				有馬	有馬	○		
			湧水	犬蔵	○	○		
	平瀬川水系		水沢	水沢	○			
			菅生ヶ丘	菅生ヶ丘	○			
			菅生	菅生	○			
			平	平	○			
	湧水		初山	○	○			
	平瀬川水系		神木本町	○				
	生物		ホタル	犬蔵	犬蔵	○		○
				初山	初山	○		○
	植物		宮前区の花・コスモス	区内全域	○			
			宮前区の木・サクラ	区内全域	○			
		影響寺の乳イチヨウ	野川	○				
		影響寺のイチヨウ、サルスベリ	野川	○				
		野川梅の里	野川	○				
		野川のコスモス畑	野川	○				
		下有馬不動尊のヤブツバキ	東有馬	○				
		有馬植木の里	有馬	○				
		有馬椿の里	有馬	○				
		有馬梅林公園	有馬	○				
		有馬つつじ公園	有馬	○				
		ケヤキ	有馬	○				
		イヌツゲ・イロハカエデ	小台	○				
		イトヒバ	菅生	○				
		平中学校の保存樹林	平	○				
		ケヤキ	平	○				
白幡八幡大神のクスノキ		平	○					
等覚院のツツジ		神木本町	○					
東高根のシラカシ林		神木本町	○					
NEC跡地の街路樹など		宮崎	○					
泉福寺のイチヨウ・サルスベリ	馬絹	○						

宮前区区民会議で把握した地域の資源一覧

大分類	中分類	資源名	町名	みたい・ききたい	買いたい・食べたい	やってみみたい			
歴史文化	史跡・遺跡	野川神社境内遺跡	野川	○					
		十三菩提遺跡	野川	○					
		潮見台遺跡	潮見台	○					
		権現台遺跡	五所塚	○					
		東高根遺跡	神木本町	○					
		馬絹古墳	馬絹	○					
	歴史のある道	大山街道	有馬	有馬	○		○		
			鷺沼	鷺沼	○		○		
			宮前平	宮前平	○		○		
			小台	小台	○		○		
			鎌倉古道	菅生	○		○		
			大山街道	宮崎	○		○		
	伝承・民俗文化	宮前音頭 武蔵野音頭 野川囃子 有馬大正踊り八木節 有馬囃子 護符・オオカミ伝説 土橋万作踊り 平瀬川の歌 初山の獅子舞 平瀬川の歌 白旗八幡大神の禰宜舞 平囃子 初山の獅子舞 平瀬川の歌	宮前音頭	区内全域	○		○		
			武蔵野音頭	区内全域	○		○		
			野川囃子	野川			○		
			有馬大正踊り八木節	有馬	○		○		
			有馬囃子	有馬			○		
			護符・オオカミ伝説	土橋	○				
			土橋万作踊り	土橋	○		○		
			平瀬川の歌	水沢	○		○		
			初山の獅子舞	菅生	○				
			平瀬川の歌	菅生	○		○		
				平	○		○		
			白旗八幡大神の禰宜舞	平	○		○		
			平囃子	平			○		
			初山の獅子舞	初山	○				
			平瀬川の歌	神木本町	○		○		
			寺社仏閣	野川神明社 影向寺 和田八幡宮 西蔵寺 長善寺 有馬不動堂 有馬神明神社 福王寺 土橋神社 正福寺 八幡神社 犬蔵天神社 如意院 八雲神社(天王社) 菅生神社 秋月院 長安寺 白幡八幡大神 東泉寺 本遠寺 神木天満宮 長尾寺 神木山等覚院 泉福寺 浄照寺 慈照寺 馬絹神社	野川神明社	野川	○		
					影向寺	野川	○		
					和田八幡宮	野川	○		
	西蔵寺	野川			○				
	長善寺	東有馬			○				
	有馬不動堂	有馬			○				
	有馬神明神社	有馬			○				
	福王寺	有馬			○				
	土橋神社	土橋			○				
	正福寺	土橋			○				
	八幡神社	宮前平			○				
	犬蔵天神社	犬蔵			○				
	如意院	水沢			○				
	八雲神社(天王社)	菅生ヶ丘			○				
	菅生神社	菅生			○				
	秋月院	菅生			○				
	長安寺	菅生			○				
	白幡八幡大神	平			○				
	東泉寺	平			○				
	本遠寺	初山			○				
神木天満宮	神木本町	○							
長尾寺	神木本町	○							
神木山等覚院	神木本町	○							
泉福寺	馬絹	○							
浄照寺	馬絹	○							
慈照寺	馬絹	○							
馬絹神社	馬絹	○							
その他	川崎考古学研究所	有馬			○				

宮前区区民会議で把握した地域の資源一覧

大分類	中分類	資源名	町名	みたい・ききたい	買いたい・食べたい	やってみたい	
産業	食べ物	宮前のブロッコリー	区内全域		○		
		宮前のダイコン	区内全域		○		
		宮前のトマト	区内全域		○		
		宮前メロン	野川		○		
		お好み甘納豆	野川		○		
		ふる舞いそば	小台		○		
		産みたて卵	水沢		○		
		唐辛子エッセンス	平		○		
		ハーブビネガー	平		○		
		わがままいちご	平		○		
		カップブディング	南平台		○		
		神木とろ〜りプリン	神木本町		○		
		馬絹の小菊	馬絹		○		
		馬絹の花桃	馬絹		○		
		農業	盛んな都市農業	区内全域			○
		まち・施設	ランドマーク・モニュメント	(駅前シンボル)	鷺沼	○	
	蔵敷交差点モニュメント			菅生	○		
施設	有馬療養温泉旅館		東有馬		○		
	鷺沼ボウル		鷺沼			○	
	フロントウン鷺沼		鷺沼			○	
	東名川崎IC		土橋	○			
	天然温泉 湯けむりの庄		宮前平		○		
	川崎市中央卸売市場北部市場		水沢	○	○		
	電車とバスの博物館		宮崎	○			
道	名前のついた坂		区内全域	○			
商店	天然酵母のパン屋		野川		○		
	ペット業界のパイオニア店舗		有馬		○		
その他	教育水準が高いと言われている		区内全域				

第 2 期宮前区区民会議の総括方法（案）

総括報告書の構成イメージ

はじめに（委員長あいさつ）

（第 1 期から第 2 期へのつながり記載か）

目次

第 1 章 第 2 期区民会議の成果 ～宮前区をもっと楽しく面白く～

- ・成果 1：地域コミュニティの活性化に向けた提言
地域コミュニティを活性化させるための具体的提案を区長に提出した。
※提言内容はダイジェストで（一覧的・各提案 1 行程度）
※ 7 区で最も早く提案、リーディング的役割を担っていることも触れる。
- ・成果 2：協働で動き出す、コミュニティ活性化に向けた取組
区役所庁内会議、全体会での取組状況報告、協働推進事業への反映

第 2 章 区民会議からの提言と取組

- ・各部会からの提案と取組状況（詳しく）
 - ①公園を活用した地域コミュニティ活性化について
 - ②地域資源を活用した地域コミュニティ活性化について

第 3 章 活動の経緯

- ・検討の経緯、各回の内容等について
※第 1 期(明日のコミュニティ部会)からのつながりという点を踏まえ、検討課題として選定した経緯と各部会の審議内容について記載する。
（10 の課題分野を 2 つの共通項に集約し、公園と地域資源を検討課題として選定）
 - ①全体会
 - ②企画部会
 - ③公園・地域づくり部会
 - ④宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会

第 4 章 第 3 期に向けて ～今後の課題と展望～

検討課題や、改善すべき事柄、2 年間を振り返って(委員の意見)など

資料編

区民会議名簿、組織図、要項、区民会議だより など

平成 21 年度 宮前区区民会議フォーラムの実施方法について(案)

■ 日時

平成 22 年 3 月 27 日(土) 13:00～16:00

■ 目的

- ① より多くの区民に区民会議の意義・役割を知ってもらう
- ② 参加した区民と共に、第 2 期の提案内容の具体的な進め方について考える
(区民とともに開く**拡大区民会議**のイメージ)
- ③ ①・②によって、実際に一緒に取り組む担い手を増やす
- ④ 第 3 期委員就任予定者との情報共有(取組経過・地域課題・運営上の課題等)

■ 場所

宮前区役所大会議室

■ 内容

- ① 第 2 期宮前区区民会議の総括(委員長)
 - ・ 区民会議制度全般について
 - ・ 審議経過について
 - ・ 運営上の課題について
- ② 第 2 期宮前区区民会議の提案内容報告について(両部会長)
 - ア 公園・地域づくり部会
 - イ 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会

③ 分科会

(1) 第 2 期区民会議からの提案について

報告のあった 2 つのテーマに関する実際の取組手法等について議論・発表

公園 : 「 」などを語り合う

宝さがし : 「 」などを語り合う

(2) 第 3 期に向けて

運営上の課題や審議対象テーマについて議論・発表

(3) まとめ

分科会終了後、全体会で分科会の検討結果について簡単にまとめる

■ 課題

どのように多くの人を集めるか？

■ スケジュール

時間	内容	役割分担
11:30	委員集合・会場準備 打合せ（進行確認等） 発表リハーサル等	
13:00	開場・受付	
13:00	区長あいさつ	松下区長
13:05	全体会① 第2期宮前区区民会議の総括	永野委員長
13:30	全体会② 第2期区民会議の提案内容報告 プロジェクター等用いて各15分 ①公園・地域づくり部会 ②宮前区の宝探し～ときめき再発見～部会	佐藤部会長 高木部会長
14:00	休憩・座席移動	
14:10	分科会① 区民会議の提案について 議論：30分/発表：10分×2グループ	
15:00	休憩	
15:10	分科会② 第3期に向けて 議論：30分/発表：10分×2グループ	
16:00	本日のまとめ・閉会	

■ 役割分担

役割	担当者	備考
全体の進行管理	事務局	
会場設営		
受付		
司会		
区長あいさつ		
全体会① (第2期の総括)		
全体会② (提案内容の報告)		
分科会進行		
本日のまとめ・閉会		
記録 写真 録音	事務局	